

# 博物館

## 1 基本理念

- ・市民の創造性を高めます。
- ・郷土を大切にすることを育みます。
- ・世代をつなぎます。
- ・歴史を未来に活かします。
- ・学校教育をより豊かなものにします。

## 2 施設の概要

- ・名称 四日市市立博物館
- ・所在地 四日市市安島一丁目3番16号
- ・設立年月日 平成5年4月1日
- ・開館年月日 平成5年11月1日
- ・丹羽文雄記念室オープン 平成18年12月9日
- ・リニューアルオープン 平成27年3月21日
- ・敷地面積 1,845.840 m<sup>2</sup>
- ・建設面積 1,590.397 m<sup>2</sup>
- ・延床面積 10,147.108 m<sup>2</sup>
- ・建物構造 鉄骨鉄筋コンクリート造  
地下2F、地上6F

### ・主な室名と面積

展示・教育部門		2,202.065 m <sup>2</sup>
常設展示室	2 F	658.364 m <sup>2</sup>
常設展示室	3 F	548.291 m <sup>2</sup>
特別展示室	4 F	594.798 m <sup>2</sup>
ラウンジ	4 F	93.674 m <sup>2</sup>
図書スペース	1 F	86.350 m <sup>2</sup>
講座室	1 F	142.218 m <sup>2</sup>
研修・実習室	1 F	78.370 m <sup>2</sup>
収蔵部門		1,256.230 m <sup>2</sup>
収蔵庫①	B 2 F	243.290 m <sup>2</sup>
収蔵庫①前室	B 2 F	38.880 m <sup>2</sup>
収蔵庫②	B 1 F	282.170 m <sup>2</sup>
収蔵庫③	B 1 F	384.496 m <sup>2</sup>
収蔵庫②③前室	B 1 F	76.086 m <sup>2</sup>
荷解室	1 F	231.308 m <sup>2</sup>
研究部門		420.165 m <sup>2</sup>
作業室	2 F	50.422 m <sup>2</sup>
資料整理室	B 1 F	84.370 m <sup>2</sup>
文献資料室	3 F	37.952 m <sup>2</sup>
資料評価室	4 F	33.300 m <sup>2</sup>
くん蒸室	B 1 F	43.070 m <sup>2</sup>
スタジオ暗室	B 1 F	87.510 m <sup>2</sup>
ビデオ編集室	B 1 F	16.882 m <sup>2</sup>
第2会議室	4 F	37.952 m <sup>2</sup>
第3会議室	3 F	28.707 m <sup>2</sup>
プラネタリウム部門		1,714.282 m <sup>2</sup>
客室（ドーム）	5 F～6 F	565.017 m <sup>2</sup>
コズミックラウンジ	5 F	59.081 m <sup>2</sup>
コズミックギャラリー	5 F	194.763 m <sup>2</sup>
ブリーフィングルーム	5 F	59.326 m <sup>2</sup>



空調機械室	5 F～6 F	836.095 m <sup>2</sup>
管理・一般部門		4,554.366 m <sup>2</sup>
事務室	3 F	105.059 m <sup>2</sup>
事務室	2 F	60.464 m <sup>2</sup>
第1会議室	2 F	37.001 m <sup>2</sup>
ミュージアムショップ	1 F	28.723 m <sup>2</sup>
警備室	1 F	20.812 m <sup>2</sup>
中央監視室	B 2 F	44.064 m <sup>2</sup>
設備機械室	B 2 F	486.190 m <sup>2</sup>
電気室、発電機室		240.152 m <sup>2</sup>
倉庫、展示備品室など		3,531.901 m <sup>2</sup>

### ・プラネタリウム仕様

ドーム径 18.5m 傾斜型（傾斜度 20度）

座席 144席（遮音室 8席）

光学式投映機 ケイロン 401

デジタル式投映システム バーチャリウム II

全天周映画 可能

## 3 そらんぼ四日市

博物館と併設の四日市公害と環境未来館は、「そらんぼ四日市」の総称のもと、市民に親しまれ、本市のイメージを発信する一体感のある事業展開を図っている。

常設展示については、原始・古代から近世までの各時代の特徴を象徴する建物を原寸大で再現し、時代を体感できる展示として四日市公害と環境未来館の近・現代の展示につなげ、歴史の流れを理解してこれからの四日市を考える場としている。

プラネタリウムについては、従来の「地球からみた宇宙」という視点から、「宇宙からみた地球、宇宙からみた四日市」という新たな視点で、地上目線では捉えることができない地球環境について投映し、四日市公害と環境未来館と連携した環境を考える場として特色あるプラネタリウムとして、市内外から多くの観覧者が訪れている。

博物館・プラネタリウムと四日市公害と環境未来館は、過去から現在そして未来へという時間軸と、四日市から日本、世界・地球そして宇宙へという空間軸を自在に交差させ、立ち位置や見方、考え方を考えることで、未来のまちづくりを市民一人一人が考えることができる場となることを目指している。

#### 4 展示等事業

##### (1) 常設展示

###### ・常設展「時空街道」

四日市のあゆみのうち、原始・古代から江戸時代までを博物館で展示し、明治以降は2階の四日市公害と環境未来館で展示するため、両館の展示が一体的な時代の流れにあることを理解できるように、展示テーマを「四日市のまちの発展と人々のくらしの変化」とした。

時空街道では、各時代を特徴づける原寸大の建物を再現し、観覧者自身が時代の雰囲気や、社会の変化の流れを体感できるような構成としている。映像や照明による一日の時間や季節の移り変わりを感じられるほか、スマートフォンやタブレット端末を利用した展示解説や、解説シート、ボランティアとの対話の中から得られる説明など、資料の理解を促す方法も選べ、何度訪れても学べる工夫をおこなっている。

###### ・丹羽文雄記念室

文化勲章受章作家で、四日市市名誉市民の丹羽文雄(平成17年4月逝去)の足跡と業績を紹介している。丹羽作品の初版本や豪華本を始め、芸術家のための健康保険組合の創設、「文学者之墓」の建立など、文学者の社会的地位の向上に尽力し、日本文藝家協会理事長をながく務めた功績などを展示している。

また、二十数年にわたって丹羽が私費を投じて刊行した雑誌「文学者」の同人たちが集った丹羽邸応接間も再現している。

##### (2) 特別展・企画展

① 「バケモノあつめ 妖怪・幻獣の世界へようこそ」		
会 期	平成28年7月23日(土)から 9月4日(日)までの39日間	
観 覧 料	一般700円 高・大生500円	
観 覧 者 数	8,415人	
関 連 行 事	7月23日(土)	記念講演会 「湯本豪一氏による ギャラリートーク」 湯本豪一氏(本展監 修者)
	7月30日(土)、8 月7日(日)・11 日(木・祝)・21 日(日)・27日(土)	ギャラリートーク 廣瀬毅(当館学芸員)
② 「2016 イタリア・ボローニャ国際絵本原画展」		
会 期	10月1日(土)から 10月30日(日)までの26日間	
観 覧 料	一般600円 高・大生400円	

入館者数	2,606人	
関 連 行 事	10月23日(日)	ワークショップ 「イラストレータ ーになってみよ う」 U-suke氏(イラス トレーター)
	10月2日(日)・10 日(月・祝)・16日 (日)	ギャラリートーク 伊藤義浩(当館指導 主事)

③ 「古今やきもの饗宴 館蔵陶磁器セレクション」		
会 期	11月8日(火)から 12月11日(日)までの30日間	
観 覧 料	一般600円 高・大生400円	
観 覧 者 数	981人	
関 連 行 事	11月12日(土)・ 23日(水・祝)、 12月11日(日)	ギャラリートーク 田中伸一(当館学芸 員)

④ 「昭和のくらし 昭和のこども」		
会 期	平成29年1月2日(月・休)から 2月26日(日)までの49日間	
観 覧 料	一般300円 高・大生200円	
観 覧 者 数	6,798人	
関 連 行 事	2月19日(日) (1月15日(日) 開催予定を大雪 のため延期)	記念講演会 「写真で語る四日市 の昭和と今」 門脇篤氏(四日市ビ デオクラブ会長)
	1月9日(月・ 祝)・22日(日)、 2月11日(土・ 祝)・26日(日)	昭和の名人に学ぼう 伊藤義浩(当館指導 主事)、博物館ボラン ティア

⑤ 共催展 「第35回三重県埋蔵文化財展 高速道路発掘物語」		
会 期	6月14日(火)から 7月17日(日)までの30日間	
観 覧 料	無料	
観 覧 者 数	4,352人	
関 連 行 事	6月19日(日)、7 月3日(日)、10 日(日)、17日(日)	発掘調査報告会

⑥共催展「第58回北勢地区高等学校美術展」		
会期	平成29年3月7日(火)から 3月12日(日)までの6日間	
観覧料	無料	
観覧者数	592人	
関連行事	3月12日(日)	講演会・講評会

### (3) 学習支援展示・特別陳列

学習支援展示 観覧者数 27,194人 (28年度分のみ)

名称	会期	場所
①大昔の四日市 弥生時代と古墳時代	3月19日(土) ～5月8日(日)	白里亭、 3Fロビー
②四日市空襲と 戦時下の暮らし	6月14日(火) ～9月4日(日)	白里亭、 3Fロビー、 2F常設展一部
③大昔の四日市 弥生時代と古墳時代	平成29年 3月18日(土) ～5月7日(日)	白里亭、 3Fロビー

特別陳列 観覧者数 26,626人

名称	会期	場所
①新収蔵品展	5月14日(土) ～6月5日(日)	白里亭
②館蔵品展Ⅰ 萬古焼	9月13日(火) ～10月10日(月・祝)	白里亭
③時空街道展Ⅰ 伊勢参宮	10月15日(土) ～11月13日(日)	白里亭
④館蔵品展Ⅱ 鯨船	11月19日(土) ～12月11日(日)	白里亭
⑤館蔵品展Ⅲ お正月～酉年～	12月20日(火) ～平成29年 1月29日(日)	白里亭
⑥館蔵品展Ⅳ 四日市の劇場	2月4日(土) ～3月12日(日)	白里亭

## 5 教育普及事業

### (1) 子ども博物館教室

#### ①ワークショップ(全6回)

参加者数 258人 [場所: 講座室ほか]

5月8日(日)	まが玉をつくろう	伊藤義浩 (当館指導主事)
8月7日(日)	自然素材で怪獣アート	
10月16日(日)	3Dアートに挑戦!	
平成29年 1月15日(日)	むかしの道具を使ってみよう (大雪のため中止)	

1月29日(日)	むかしのおやつをつくってみよう	
2月12日(日)	昭和っ子のあそび	

### ②親子でさぐる年中行事のヒミツ(全5回)

参加者数 35人 [場所: 講座室]

4月24日(日)	端午の節句	伊藤義浩 (当館指導主事)
6月26日(日)	たなばた	
9月18日(日)	四日市祭	
12月11日(日)	お正月	
平成29年 2月19日(日)	ひな祭り	

### ③ジュニア学芸員養成講座(全4回)

参加者数 71人 [場所: 講座室ほか]

5月29日(日)	パネルの作成	伊藤義浩 (当館指導主事)
6月19日(日)	四日市空襲の話をお聞き	
11月13日(日)	親子で博物館探検	
12月4日(日)	美術品に触れよう	

### (2) 一般向け講座

#### ①時空街道ツアー(1日2回)

参加者数 67人 [場所: 時空街道]

4月24日(日)	体感型常設展を、人々の暮らしの変化という視点で読み解く、ボランティアや職員による約1時間のガイドツアー	博物館 ボランティア  伊藤義浩 (当館指導主事)
5月4日(水・祝)		
7月24日(日)		
8月14日(日)		
9月4日(日)		
12月4日(日)		

### ②ミュージアムセミナー

#### 「四日市の市と道」(全5回)

聴講者数 122人 [場所: 講座室]

7月31日(日)	四日市の市と道	田中伸一(当館学芸員)
8月28日(日)	お蔭参りの道	廣瀬毅(当館学芸員)
9月25日(日)	参宮でのおもてなし	岡田芳幸(皇學館大学 研究開発推進センター 教授・学芸員)
10月30日(日)	中・近世の東海道と四日市	播磨良紀(中京大学文 学部教授)
11月27日(日)	熊野街道と周辺の仏像	瀧川和也(三重県総合 博物館学芸員)

③古文書で知る江戸時代（全12回）

参加者数 718 人 [場所：講座室]

4月10日(日)	江戸時代のあたりまえ①	廣瀬毅 (当館学芸員)
5月22日(日)	かな文字①	
6月5日(日)	かな文字②	
7月3日(日)	数字と単位	
8月21日(日)	異体字	
9月4日(日)	江戸時代のあたりまえ②	
10月2日(日)	お触れ書き①	
11月6日(日)	お触れ書き②	
12月25日(日)	時と暦	
平成29年 1月8日(日)	絵すごろく①	
2月5日(日)	絵すごろく②	
3月12日(日)	人相書き	

④大人の社会科（全5回）

参加者数 44 人 [場所：講座室ほか]

5月15日(日)	バックヤードツアー	田中伸一 廣瀬毅 (当館学芸員)
7月10日(日)	学芸員体験①	
10月9日(日)	風呂敷 和のラッピング	
11月20日(日)	和綴じに挑戦	
平成29年 3月19日(日)	学芸員体験②	

⑤「丹羽文雄記念室」関連（全2回）

参加者数 48 人 [場所：講座室]

4月17日(日)	作品朗読会 「菜の花時まで」	田中伸一 (当館学芸員)
平成29年 3月5日(日)	原作映画上映会 「飢える魂」	

⑥いちにの散策よっかいち（全2回）

参加者数 26 人 [場所：現地]

6月4日(土)	東海道と浜往還	廣瀬毅 (当館学芸員)
平成29年 3月11日(土)	日永	

⑦出前講座

(館外各所)

演題	回数	参加人数	講師
東海道と四日市宿	4	119	廣瀬毅 (当館学芸員)
伊勢参宮と四日市	4	133	

近代四日市の産業	1	16	
地獄と極楽の話	5	171	田中伸一 (当館学芸員)
因果応報の世界	3	127	
心を包む風呂敷	3	55	伊藤義浩 (当館指導主事)
その他	10	293	廣瀬毅 (当館学芸員)
合計	30	914	

⑧実習・研修の受入

博物館実習

8月30日(火)～9月9日(金)の平日8日間  
5大学8人

学校教員研修

月	内容	人数	担当
7月	体験的博物館講座	38人	伊藤義浩 (当館指導主事)
8月	スパイラル研修	2人	
3月	スパイラル研修	1人	
計5日		41人	

中学生の職業体験

月	校数	人数	担当
6月	5校	11人	伊藤義浩 (当館指導主事)
9月	2校	4人	
10月	1校	2人	
11月	2校	3人	企画普及係、 天文係、 管理係職員
12月	1校	2人	
2月	1校	2人	
延36日	12校	24人	

⑧博物館ボランティア養成研修

10月29日(土)、11月26日(土)・30日(水)、12月3日(土)・7日(水)、2月4日(土)、2月20日(月)、3月6日(月)、3月21日(火) 全7回 参加 8人

(3) ボランティアとの協働

博物館ボランティア

登録者数 71 人 (うち 28 年度登録者 8 人)

延べ活動者数 1,664 人

丹羽文雄記念室語り部の会

登録者数 8 人

延べ活動者数 94 人

古文書ボランティア

登録者数 7 人

延べ活動者数 84 人

## 6 資料収集保存事業

(単位：件) (平成 29 年 3 月末現在)

1	区 分	実 物・標 本	模 型 複 写
人 文 学 資 料	(1) 考古	1,414	25
	(2) 美術工芸	3,307	30
	(3) 民俗	5,170	18
	(4) 歴史	10,722	62
	(5) 文学	4,917	8
	計	25,530	143
2	区 分	実 物・標 本	模 型 複 写
自 然 科 学 資 料	(1) 動物資料	0	0
	(2) 植物資料	3,273	0
	(3) 地学資料	130	2
	(4) 理工学資料	0	0
	(5) 天文資料	7	0
	(6) その他の資料	0	0
	計	3,410	2

## 7 プラネタリウム投映事業

季節ごとに3種類(一般番組、ファミリー番組、星空番組)の番組を投映した。また、新たな取り組みとして、幼児向けに「はじめてのプラネタリウム」を期間限定で投映した。前半約20分間は、後半の作品に合わせたお話や演出をライブで行い、多くの親子連れで賑わった。さらに、6月からは毎週土曜日に夜間開館を実施し、特別番組の投映や講演会やライブコンサートなどを行った。また、一般番組(春・秋)と星空番組、夜間特別番組(夏・冬)は、季節の星空や天文現象、天体や宇宙に特化したテーマを設定し45分間のフルライブで解説する自主制作番組とした。

天文教育普及活動では、移動天文車「きらら号」の観望会や出前講座、移動式プラネタリウムを活用した中学校との連携による授業、四日市こども科学セミナーなど各種の事業を実施し、幅広く天文の普及に努めた。

### (1) 季節番組

#### <春番組>

①一般番組「赤い惑星 火星が接近！」	
②ファミリー番組「プラネタリウム ちびまる子ちゃん～星にねがいを～」	
③星空番組「スペース・ミュージアム-春-」	
投映期間	3月19日(土)～6月5日(日)
観覧者数	①1,758人(2,285人) ②3,480人(4,620人) ③1,154人(1,496人) ※( )内は前年度分を含む

#### <夏番組>

①一般番組「コズミックフロント 時間旅行」	
②ファミリー番組「妖怪ウォッチ プラネタリウムは星と妖怪がいっぱい」	
③星空番組「スペース・ミュージアム-夏-」	
④学習番組「感動体感！これが宇宙ロケットの打ち上げだ！」	
投映期間	6月14日(火)～9月4日(日) ※7月21日(木)～8月31日(水)は③を④に替えて投映
観覧者数	①4,089人 ②13,582人 ③890人 ④2,135人

#### <秋番組>

①一般番組「月とこよみ」	
②ファミリー番組「それいけ！アンパンマン～ちびおおかみと月のふしぎ～」	
③星空番組「スペース・ミュージアム-秋-」	
投映期間	9月13日(火)～12月11日(日)
観覧者数	①2,322人 ②5,501人 ③1,824人

#### <冬番組>

①一般番組「オーロラの調べ 神秘の光を探る」	
②ファミリー番組「星の王子さま」	
③星空番組「スペース・ミュージアム-冬-」	
投映期間	12月20日(火)～平成29年3月12日(日)
観覧者数	①4,069人 ②2,541人 ③1,215人

#### <春番組>

①一般番組「太陽系最大の惑星 木星」	
②ファミリー番組「かいけつゾロリ 宇宙の勇者たち」	
③星空番組「そらんぼ 星空への招待 -春の句-」	
投映期間	平成29年3月18日(土)～6月4日(日)
観覧者数	①609人(2,354人) ②1,363人(4,051人) ③210人(992人) ※( )内は後年度分を含む

※一般番組とファミリー番組については、各1回字幕付き投映を実施

### (2) 学習投映(団体利用投映)

- ・ 保育園、幼稚園、小・中学校、高校等の団体対象(事前申込みが必要)
- ・ 季節の星座を中心に、年齢・学年に応じた、生解説

による双方向型の学習用プラネタリウム

- ・ 四日市公害と環境未来館と連携して、小学校5年生を対象に環境学習として「アース・メッセージ」を放映

天体学習プログラム	159回	11,786人
環境学習プログラム	32回	1,989人
合計	191回	13,775人

<季節番組・学習放映の放映時刻> ※放映は約45分間

平日	学習 9:50	学習 11:10	学習 13:15	一般 14:30	星空 15:45	
土日祝 学校長期 休暇期間	一般 10:15	ファミリー 11:30	ファミリー 13:15	一般 14:30	星空 15:45	土曜 夜間 18:30

### (3) 特別番組

#### ① 宇宙塾

第1回 「わたしたちの地球を守るために～JAXAの地球環境問題への取り組み～」	6月18日(土)18:30～20:00 可知美佐子 (JAXA 地球観測研究センター) 観覧者数 108人
第2回 「CGアートの世界～世界の星空を求めて～」	平成29年1月9日(月・祝)18:30～20:00 KAGAYA (イラストレーター) 観覧者数 135人
第3回 「南極のオーロラ～南極観測60周年:極地から探るオーロラとジオスペース～」	1月14日(土)18:30～20:00 宮岡宏 (国立極地研究所教授) 観覧者数 47人

#### ② ライブコンサート

全国ファミリー音楽コンクール・プレコンサート	9月24日(土)18:30～20:00 ワッシーファミリー、Swing girls and a boy (グランプリ受賞グループ) 観覧者数103人
お月見コンサート	10月8日(土)18:30～20:00 松井祐貴 (ギタリスト) 観覧者数 140人
秋の夜長コンサート	11月12日(土)18:30～20:00 細川敦朗 (フルーティスト)、池田寿美子 (ピアニスト) 観覧者数 143人

星空のラブソング バレンタインコンサート	平成29年2月11日(土) 18:30～20:00
	樋泉あき (玉川学園)
	観覧者数 46人

#### ③ CDコンサート

「冬の星空とクリスマス特集～光と宇宙のシンフォニー～」	12月10日(土)18:30～19:30 観覧者数138人
-----------------------------	----------------------------------

#### ④ 幼児向け特別番組

「はじめてのプラネタリウム」(星うさぎと月のふね)	4月8日(金)・15日(金)・22日(金)、4月29日(金・祝)～5月8日(日) 10:15～11:00 観覧者数956人
---------------------------	---

#### ⑤ 夜間特別番組

「リオデジャネイロに輝く星たち～南十字星に願いを～」	6月4日(土)～9月3日(土)の土曜日 18:30～19:15 観覧者数 177人
「オーロラの調べ 神秘の光を探る」	9月17日(土)～12月3日(土)の土曜日 18:30～19:15 観覧者数 361人
「太陽系惑星ツアー～天然温泉めぐり～」	12月24日(土)～平成29年3月11日(土)の土曜日 18:30～19:15 観覧者数 184人
「12星座物語」	平成29年3月18日(土)～6月3日(土)の土曜日 18:30～19:15 観覧者数 31人(292人) ※( )内は後年度分を含む

#### ⑥ その他放映

研修・視察等の団体向け特別放映 放映7回(5団体)

#### ⑦ その他視察

視察団体向けのガイダンス放映 放映13回(13団体)

### 8 天文教育普及事業

#### (1) 公開観望会 (移動天文車きさら号出勤なし)

ペルセウス座 流星群観望会	8月12日(金) 19:00～21:00	参加者数 163人
------------------	-------------------------	-----------

## (2) 学校連携

市内の中学校3年生を対象に、移動式プラネタリウムを活用した出前授業を実施。(内容:星の日周運動や年周運動、北極・赤道での太陽の動き、金星の満ち欠けなどについて学習する。)

移動式プラネタリウム	11月14日～12月2日 の原則火～金曜日	実施校数 6校
------------	--------------------------	---------

## (3) コズミックスクール

①折り紙で星をつくろう!	4月29日(金・祝)～5月8日(日) 11:00～12:00
②傘袋ロケットをつくろう!	5月3日(火・祝)～5月5日(木・祝) 13:15～15:15
③プラネタリウムについて知ろう!	7月30日(土) 9:45～13:00、12:15～15:30
	8月6日(土) 9:45～13:00、12:15～15:30
④ロケットのしくみを知ろう!	8月12日(金) 13:15～18:00
	8月13日(土) 13:15～18:00
⑤万華鏡をつくろう!	10月1日(土) 15:00～16:30 (※楠歴史民俗資料館にて実施)
⑥惑星儀をつくろう!	12月23日(金・祝) 10:30～11:15、11:30～12:15 13:15～14:00、14:15～15:00
⑦天体望遠鏡をつくってすばるを見よう!	平成29年3月25日(土) 16:30～19:30
全25回 参加者数合計 850人	

## (4) 教職員研修

研修テーマ「プラネタリウムの学習投映について」		
①小学校教諭対象	8月8日(月) 9:30～12:00	参加者数 58人
②中学校教諭対象	8月8日(月) 13:00～16:30	参加者数 32人
スパイラル研修		
8月20日(土)21日(日)		参加者数 7人

## (5) 四日市こども科学セミナー (会場:四日市大学)

JAXA コズミックカレッジ in 四日市 だいちの星座～電波反射器 をつくって大地に星座を描こう!～	8月20日(土)17:30～19:30
	8月21日(日)9:00～12:30
	鈴木浩之(金沢美術工芸大学准教授) 大木真人(JAXA地球観測研究センター開発員)
参加者数:83人 (保護者含む)	

## (6) ガリレオ教室 (天文ボランティアとの協働)

4月10日(日)	火星のひみつ
7月10日(日)	流れ星のひみつ
10月9日(日)	日本に伝わる秋の名月
11月13日(日)	金星のひみつ
12月11日(日)	金星のひみつ
平成29年1月8日(日)	宇宙空間のひみつ
2月12日(日)	宇宙空間のひみつ
3月12日(日)	惑星のひみつ
1日2回 全16回実施 参加者数合計 274人	

## (7) 天文ボランティア養成講座 (申込み制 / 5回連続講座)

①平成29年1月21日(土) 13:30～17:30	ボランティア活動とは
②2月5日(日) 16:00～18:30	最新機器を使った観望会の持ち方
③2月12日(日) 13:30～15:30	天文学入門
④2月25日(土) 16:00～18:30	星座早見盤、望遠鏡の使い方
⑤3月5日(日) 13:30～16:00	具体的活動について
参加者数 延べ100人	

## (8) 出前講座など

①6月29日(水)	3Dで宇宙のお話
	場所:水沢病院 主催者:医療法人安仁会 水沢病院 参加者数130人
②7月30日(土)	3Dで宇宙のお話
	場所:少年自然の家 主催者:四日市市こども未来部こども未来課 参加者数40人

## (9) 移動天文車「きらら号」事業

大型天体望遠鏡を載せた移動天文車「きらら号」による星空観望会を天文ボランティアの方々の協力を得て実施した。

### ① 派遣事業

要請により市内各地へ出動し、観望会を行った。

「きらら号」稼働状況（派遣事業のみ）	
稼働予定回数 30回 （うち派遣回数：22回、中止時の天文教室回数：3回、天候不順のため中止：5回）	参加者数 2,308人 （うち中止時の天文教室参加者数 120人） ボランティア数 延べ73人

## ② 主催事業

「きらら号」稼働状況（主催事業のみ）	
稼働予定回数 15回 （うち実施回数：9回、天候不順のため中止：6回）	参加者数 985人 ボランティア数 延べ32人

### <主催観望会>

会場：市民公園（博物館前）

①木星を見よう	4月23日（土） 19:30～21:00	天候不順の為 中止
②木星と火星を見よう	5月28日（土） 19:30～21:00	実施
③木星と火星と土星を見よう	6月25日（土） 19:30～21:00	天候不順の為 中止
④火星と土星を見よう	7月23日（土） 19:30～21:00	実施
⑤伝統的七夕の日に織姫と彦星を見よう	8月9日（火） 19:30～21:00	実施
⑥夏の大三角と土星を見よう	8月27日（土） 19:00～20:30	実施
⑦中秋の名月を見よう	9月15日（木） 18:30～20:00	天候不順の為 中止
⑧夏の大三角を探そう	9月24日（土） 18:30～20:00	天候不順の為 中止
⑨十三夜の月を見よう	10月13日（木） 18:00～19:30	実施
⑩秋の四辺形を探そう	10月22日（土） 18:00～19:30	天候不順の為 中止
⑪秋の四辺形と金星を見よう	11月26日（土） 17:00～18:30	天候不順の為 中止
⑫金星とすばるを見よう	12月24日（土） 17:00～18:30	実施
⑬金星と火星とすばるを見よう	平成29年 1月28日（土） 18:00～19:30	実施
⑭冬の大三角を探そう	2月25日（土） 18:30～20:00	実施
⑮太陽を見よう	3月25日（土） 10:30～12:00	実施

## 9 開館時間等

### 開館時間

午前9時30分から午後5時まで

（ただし展覧会への入場は午後4時30分まで）

※毎週土曜日は夜間特別開館として1階・5階のみ  
午後7時30分まで開館。

### 休館日

月曜日（休日の場合は翌平日）及び年末年始（12/26～1/1）

6月6日（月）～13日（月）

9月5日（月）～12日（月）

12月12日（月）～19日（月）

平成29年3月13日（月）～17日（金）

### 観覧料金

区分	博物館 特別展示	プラネタ リウム	プラネタ リウム特 別番組
一般	その都度 定める額	540円	その都度 定める額
高・大生		380円	
小・中生		210円	
	無料	210円	

※有料20名以上の団体は2割引

※博物館常設展示は無料

### 施設利用

	9時30分 ～12時	13～17時	9時30分 ～17時
特別展示室 595㎡	—	—	32,400円
講座室 142㎡	8,640円	12,960円	21,600円

※観覧料等を徴収する場合は、100分の50を乗じて得た額を加算する。

※博物館の設置目的に反しないもの、事業に支障のないものに限る。

※商業宣伝、営業行為には使用できない。



10 月別観覧者数

月	常設展		特別・企画展		プラネタリウム			月 計
	日	観覧者数	日	観覧者数	日	回数	観覧者数	
4月	26日	3,299	0日	0	26日	93回	3,077	6,376
5月	27日	4,363	0日	0	27日	104回	4,048	8,411
6月	20日	4,689	0日	0	20日	92回	5,837	10,526
7月	27日	6,667	8日	1,765	27日	131回	8,377	16,809
8月	27日	9,033	27日	5,874	27日	143回	11,153	26,060
9月	20日	4,454	4日	776	20日	87回	5,384	10,614
10月	26日	5,263	26日	2,606	26日	116回	5,306	13,175
11月	26日	4,756	20日	498	26日	115回	5,226	10,480
12月	16日	2,510	10日	483	16日	71回	3,014	6,007
29年1月	26日	3,456	26日	3,081	26日	108回	3,492	10,029
2月	24日	4,313	23日	3,717	24日	101回	3,813	11,843
3月	23日	3,651	0日	0	23日	97回	4,583	8,234
合計	288日	56,454	144日	18,800	288日	1,258回	63,310	138,564

※4月23日(土)～6月5日(日)の期間は、四日市公害と環境未来館主催の特別展「ナショナルジオグラフィック写真展 地球の真実」開催のため、博物館の「特別・企画展」の観覧者数には含めていません。

[参考]

過去3年間の観覧者数

年度	常設展		特別・企画展		プラネタリウム		合計人数
	日	観覧者数	日	観覧者数	日	観覧者数	
27	294日	71,143人	156日	15,181人	294日	59,195人	145,519人
26	45日	7,355人	32日	4,533人	42日	7,649人	19,537人
25	298日	24,579人	170日	20,641人	275日	40,876人	86,096人